

手稲緑地通信

春の自然観察会を行いました



貴重な自生植物を守り育てる取り組みを行っている3つの公園で、春の自然観察会を開催しました。今年、春先に低温が続いた影響で、植物の生育が例年より遅れましたが、多くの地域の皆さんにご参加いただきました。北大大学院農学研究院の近藤 哲也教授と、植生管理の専門家である、笠 康三郎さん((有)緑花計画)の案内で、各公園で行っている取り組みの成果を確認しながら、春の植物観察を楽しみました。

星置緑地では、曇り空の中での開催となってしまいましたが、ちょうど見頃のミズバショウを楽しむことができました。(写真上、詳細は2ページで紹介)

富丘西公園では、低温の影響により、開花しているスズランは数株でしたが、林内に咲き始めた春の植物観察を楽しみました。(詳細は3ページで紹介)

稲穂ひだまり公園でも、カタクリの開花は遅れていましたが、たくさんの蕾や新しい芽を確認することができました。(詳細は3ページで紹介)

今後の取り組み予定

星置緑地

■作業講習会

- 7月 8日(木)10時～ (牧草の草刈りなど)
- 8月12日(木)10時～ (イタドリの刈り取りなど)
- 9月12日(日)10時～ (帰化植物の抜き取りなど)

■大掃除会 10月24日(日) 10時～

富丘西公園

■作業講習会

- 8月5日(木)10時～ (ススキの高刈りなど)
- 9月2日(木)10時～ (帰化植物の抜き取りなど)

■大掃除会 10月31日(日) 10時～

稲穂ひだまり公園

■大掃除会 10月31日(日) 13時～

星置緑地を守り育てる取り組み

より魅力あふれる緑地にしていくために、「みどりのサポーター」の皆さんが保全作業を行っています。

◆春の大掃除会

4月9日(金)参加者9名

ミズバショウの見頃を前に、緑地内のゴミ拾いと、木道の掃き掃除と、秋に刈り残したササの刈り取りを行いました。



- 特にゴミが多かった線路側のゴミ拾いの様子(写真上)
- 作業後の拾い集めたゴミと、サポーターの皆さん(写真右)



◆第14回自然観察会

4月25日(日)参加者66名

多くの皆さんにお越しいただき、春の植物観察を楽しんだ後、保全活動の進め方について確認しました。



- 参加者の皆さんへ、緑地の取り組みについて説明(写真上)
- 見頃を迎えて美しい姿を見せたミズバショウ(写真右)



◆保全作業講習会①

5月13日(木)参加者9名

緑地内に増え始めているクサヨシの除去と、オオイタドリ
の刈り取り作業を行いました。



- 湿地内で慎重にクサヨシを除去(写真上)
- オオイタドリが大きく生長する前に、伸び始めた新しい茎を刈り取る作業(写真右)



◆保全作業講習会②

6月6日(日)参加者26名

緑地東側入り口付近の見通しを良くするための刈り取りと、緑地内の帰化植物の抜き取りなどを行いました。



- 夏から秋に花の咲く野草を残しながら、丁寧に行った草刈り作業(写真上)
- キクザキイチゲの移植場所に大量に発生しているヒメジョオンの抜き取り作業(写真上)



緑地の木道の整備が始まります!

今年度中に、緑地内の木道の拡幅と、一部を新設する整備が始まります。現在は幅が狭く、すれ違うことも難しい状況ですが、整備後は車いすが通れる幅が確保されます。また、線路側の歩道に通じる木道を新しく設ける予定ですが、付近の貴重な植物は、地上部が順次別の場所へ移植していきます。

工事期間は、平成 年 月～ を予定しています。

来年の春には、生まれ変わった緑地で自然観察を楽しめるようになりますので、地域の皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。



6月6日の保全作業講習会では、みどりのサポーターの皆さんにご協力いただいて、木道新設予定地に自生するキクザキイチゲの移植を行いました(写真上)

富丘西公園のスズラン保全の取り組み

スズランの保全と、四季を通じて貴重な植物を楽しめる草原づくりのための作業を行っています。

◆保全作業講習会① 4月29日(木)参加者17名

スズランが芽を出す前に、昨年から行っているカモガヤの除去と、ススキや落ち葉などの掃除を行いました。



- スズランを傷めないように、カモガヤだけを丁寧に除去(写真上)
- スズランを圧迫する恐れがあるため、地道な掘りとり作業が必要な、カモガヤ(写真右)



◆第21回自然観察会 5月30日(日)参加者約50名

開花しているスズランはわずかでしたが、保全作業の成果を確認した後、林内の自然観察を楽しみました。



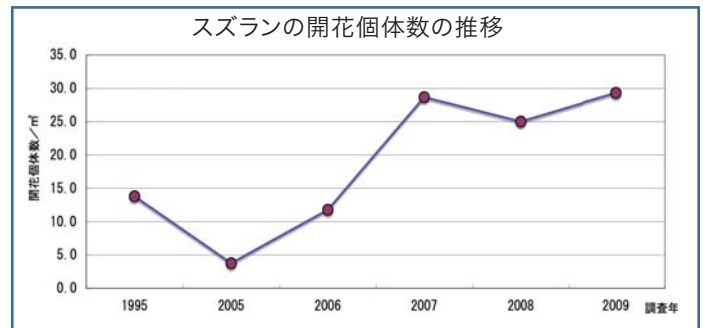
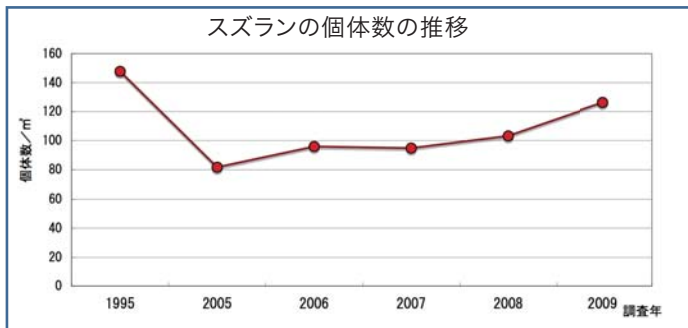
- 今年も春の植物の開花を心待ちにしていた参加者の皆さん(写真上)
- 後日満開となったスズラン(写真右)



スズランの花数が
増えています！

自然観察会の冒頭に、スズラン保全のご指導と調査を続けている、北大農学研究院の

近藤教授が、下記の調査結果を報告して下さい、スズランは、15年前に再確認された際の生育密度には及ばないものの、開花数については約3倍に増えていることがわかりました。また、通常は地下茎で増えていくスズランの種子からも、増殖する可能性があることも紹介されました。地道な作業が少しずつ実を結んでおりますので、更なる回復を目指していきましょう！



稲穂ひだまり公園のカタクリ保全の取り組み

カタクリをはじめとする貴重な植物と親しんでもらうための観察会と、保全の取り組みを行っています。

◆第6回自然観察会 4月29日(木)参加者16名

カタクリの開花の様子は見られませんでした。園内に残る貴重な自然を観察し、地域の大切な財産として守っていく必要性を確認しました。



- 近藤教授の解説で、カタクリや一緒に生育しているエゾエンゴサクやオウバユリなどの植物について、生育のしくみや繁殖の方法、植生管理の方向性などを学ぶ参加者の皆さん(写真左)

- 後日満開となったカタクリとエゾエンゴサクの群生(5月6日、写真右)



「山口運河」を、地域ぐるみで守り育てるための清掃活動

「山口運河」を、星置・山口地区の歴史を物語るシンボルとして守り育てる様々な取り組みが行われています。

今回は、地域ぐるみによる清掃活動をご紹介します。

初夏の清掃活動として、運河の草刈りが行われました。

6月27日(日)に、星置連合町内会主催の運河の清掃が行われ、気温が30度近い中、86名の皆さんが参加されました。この日は、星置中学校より下流の約400メートルの区間で、運河の中と兩岸の草刈りとゴミ拾いを行いました。

星置連合町内会では、平成18年から、「地域の財産である山口運河を、自分たちの手できれいにしていこう!」という思いから、運河の水の中の清掃とゴミ拾いの取り組みを始めました。さらに、翌年から、運河を覆い尽くすアシなどの草刈りを、アシの茎が堅くなる前のこの時期に行うようになりました。

今年もアシは背丈以上の高さまで生長していましたが、作業を始めた3年前よりも、茎が細くなってきているそうです。星置緑地の作業講習会にも参加されている方は、「緑地のアシのように、運河のアシも刈り続けることで、年々勢力が弱くなってくれると良いですね」とお話し下さいました。

範囲が広く大変な作業でしたが、参加者の皆さんは気持ちよい汗を流されたようです。親子で参加した小学生も、「回覧板を見て、参加しようと思った。大変だったけど、楽しかった!」と笑顔で話してくれました。

地域の中学生、高校生による清掃も行われています。

平成19年より、近隣の稲西高校の生徒たちが、地域への奉仕活動の一環として、運河の水の中の清掃を続けています。

また、平成20年から、星置中学校ボランティア委員会が、清掃活動にあわせて、運河の生き物調査も行っています。これは、北海道工業大学柳井研究室の協力によるもので、ドジョウやスジエビなど、9種類もの生き物が見つかっています。これらの生き物達は、星置地区センターのロビーで、「山口運河ミニ水族館」として水槽で展示しており、小さな子ども達の人気のスポットになっています。

運河の水は、現在は水源がなく、決まった時間帯に地下水を汲み上げて流しているため、水の中には泥やゴミなどがたまりますが、夏の間の清掃によって、とてもきれいになります。

こうして地域ぐるみで清掃された後は、「山口運河祭り」が開催され、大勢の人でにぎわいます(今年は9月5日開催)。地域の皆さんが愛着を持って守り、育てている「山口運河」に、ぜひ、足を運んでみて下さい。

「山口運河」は、明治30年、手稲山口地区の排水と農産物や生活物資の水上輸送のため、花畔(ばんなぐろ)の石狩川(現茨戸川)から銭函海岸までの14.5kmにわたって整備された「花畔・銭函間運河」の一部区間をいいます。当時、人々の行き来や物資の輸送等に重要な役割を果たしましたが、維持管理の問題や鉄道輸送の発達で、その使命は7～8年で終えたといわれています。

現在は、一部の区間が水辺の散歩道として整備され、札幌市内で「運河」と名のつく唯一の河川となっています。



現在の山口運河の様子



機械と手作業とで分担して、広範囲を刈り取った草刈り作業(6月27日)



デッキブラシで汚れを落としていく、稲西高校の生徒達(昨年の清掃の様子)

■お問い合わせ先 星置まちづくりセンター :TEL. 011-695-3222 FAX. 011-695-3223
ホームページ <http://www.ab.auone-net.jp/~h-comet/index.html>

「手稲緑地通信」第7号では、富丘西公園、星置緑地、稲穂ひだまり公園で行っている植物保全の取り組みと、「山口運河」の取り組みをご紹介します。今年の取り組み予定も記載しておりますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先:手稲区土木センター公園緑化係(電話:011-681-4011)